

※「法海」とは、仏法の広大なことを海にたとえている言葉です。

法海

Hou-Kai

ここに響くことば

06

どれだけ物が豊かでも
心豊かでなければ
人生は空しい

リ ニアモーター新幹線が東京
～名古屋間を最短40分
結ぶようになります。スマートフォ
ンの普及率が上昇し、日本の世の
中はますます「便利で豊か」の方
向に進んで行っています。確かに科
学技術の発達は私たちの生活に
様々な恩恵をもたらしてくれまし
た。しかし、それでは幸せの基準が
そこにあるということなのでしょう
うか。

世の中が便利になっても、かえっ
て忙しさを増しているように感じ
るのはなぜでしょうか。忙しいとは
「こころ」を「なくす」と書きます。
もはや私たちはこの生活に馴れ、
この便利さを手放すことはできま
せん。しかしながらこの便利さの裏
側にある課題を見つめることは大
切なことでしょう。

便利さの影で様々な公害を生ん
できました。また物がたくさんあ
れば、物に対するありがたみ(感
謝)が薄れ、物を粗末に扱ってしま
い、莫大な量のゴミが出ています。

「日本では、おにぎり一つと粗末に
し、インドでは、おにぎり一つとお
がむ。どちらが幸せだろうか」とい
う詩があります。また、ブータンは
決して物が豊かな国ではありません
が、国民総幸福度が100%に
近いことで有名です。「足ることを
知らない者は、富めるとも貧しい
人にことならず、足ることを知って
いる者は、貧しくとも富める人に
ことならない。(パーリー律)」と「聖
典」にあるように、仏教の教えの中
に「少欲知足」があります。「欲を
少なくして、満足することを知り
なさい」ということです。それが自
分の幸せにつながる一つの道なので
す。

さて、「おもてなし」は物だ
けではできません。むしろ心が大
切です。心を豊かにするには何が
必要でしょうか。たくさんのお本を
読み、いろいろな人に出会い、自然
と触れ合っていくこと、そして正し
い教えに出会うことが大事だと思
います。

【中学・高校宗教部】